

平成28年度NPO等による心の復興支援事業補助金 採択事業一覧

整理番号	事業名	応募者	事業概要	補助金額 (千円)
1	避難して来られた方が多く住む、鶴ヶ谷を元気にする交流事業	つるがや元気会	仙台市新興団地で高齢化率が、38.5%と最も高く、又県内ブロック別にみても第二位の鶴ヶ谷は、大震災で全半壊した住宅や店舗が18.7%あり、被災地でありながら、438名の方が沿岸部等より避難して住んでおります。避難被災者を含めて、鶴ヶ谷地区を活性化し、明るく元気な町にする為、健康講座・市民講座、童謡を唄う会、ロコモ体操教室、サロン「ほっとカフェつるがや」、「つるがや元気まつり」を開催します。	1,032
2	地域住民の生活再建・地域コミュニティの形成の促進プロジェクト	特定非営利活動法人生活支援プロジェクトK	「はしかみの保健室」や「コミュニティカフェ」を行うことで、健康や生活で困ったことを相談できる身近な場所として利用してもらい、そこから聞こえてきた声をもとに、自治会や支援団体と連携を取りながら住民の生きがい・繋がりがづくりを行い、地域支援活動を推進していく。また、震災後の地域の動きをスタディーツアーを通して県外の方にも伝える。	1,774
3	市民のちからサポート事業	一般社団法人かもみ〜る	①趣味・学びを仲間と共に行い、生きがいや新生活への活力とする手作りカフェサロン活動 ②自然の中で子育てを楽しむこと等を応援する子育て支援活動 ③起業した個人等に販売促進・販路拡大、地域の人との交流の機会を提供する支援活動 ④心のケアのセミナーの開催 ⑤障害を持った人たちの地域コミュニティ支援活動	1,793
4	仮設住宅退居者の新しいコミュニティ作り支援	塩釜聖書バプテスト教会復興支援プロジェクトホープみやぎ	対象地域の復興集合住宅などの避難所(集会場)でのお茶のみや、コンサートを毎月開催。	762
5	被災者と地域住民コミュニティのIT活用による絆づくり	公益財団法人 仙台応用情報学振興財団	東松島市や自治会等の協力を得て、災害復興住宅が建設された地域で開催し、集まりやすい集会場等をお借りして、1コース10回の講義を3か所でパソコンやタブレット端末・スマートフォンの簡単な活用講座を教材や機材を用意して開催する。町内の集会場など集まりやすい近場で、パソコンの基本的な操作を中心として、お孫さんや家族とのメールやSNS、インターネットを利用したTV電話、災害時の情報収集や連絡手段としての活用などをカリキュラムに組み込んで、人と人との絆づくりや生きがいづくりを実現する。	1,989
6	住民参加型による仙台東部エリアにおける餅文化の掘り起こしと発信事業	せんだい東部復興市民会議	仙台市東部エリアは東日本大震災により大きく被災したが、長らく営まれてきた生活文化が今なお暮らしの中に息づいている地区である。そうした震災前の暮らしにおける「当たり前」を、地域の外に対して「魅力」として発信していくことで、住民にとっては地域に対する愛着と誇りを再び取り戻す契機に、外部者にとっては「被災地」ではなく、「都市にはない魅力を持った地域」という向き合い方ができるように、固有の食文化に焦点を当てた取り組みを行う。	1,994
7	浦戸宝島つながるプロジェクト	特定非営利活動法人みやぎスマートアグリ	①震災後事業再建できていない漁業者を主体とした、体験交流型モデル施設として牡蠣の浅海養殖施設を再建し、体験交流型観光プログラムを実施する。②これまでのような生産量で収益を目指すのではなく、多様化する市場ニーズに柔軟に対応した(例えば、小粒の殻牡蠣がオイスターバーなどで現在必要とされている)生産モデルを構築し、収益性の高い漁業モデルを確立し、被災により離職した島民や、島の未来を担う後継者の働く場を創出する。	2,000
8	被災者支援・ふるさと東北支え合い運動	明るい社会づくり運動仙台地区推進協議会	・応急仮設住宅、災害復興住宅でのお祭り開催支援(地域活性化)・東北以外住民と被災者の交流(震災風化防止) ・東北以外の住民の漁業体験(震災風化防止、水産業)・災害復興住宅での定例趣味の会支援(ものづくり) ・炭焼き事業支援による地域活性化(まちづくり)・応急仮設住宅での定例映画鑑賞会支援(世代間交流)	1,949
9	既存の仮設住宅と地域を含めた新たな公営住宅での隣ぐみ作り事業	NPO 心と身体のケアサポート・Kコラボ	仮設住宅や公営住宅の集会所でアロマタッチケアをしながらの傾聴活動。待ち時間を大衆演劇舞踊のDVDをプロジェクターを使い90インチのスクリーンで上映し100分位の時間を楽しんでもらう。また並行してお茶っこをしながらつろいでもらう。地域の場所(サロン等)ではアロマタッチケアと傾聴の活動を行う。	1,702
10	被災地域交流ひろばづくり事業	沖区振興会	東日本大震災の被災地区である八幡地区内の土地において、住民が共同で芝生の種蒔きや芝生の貼付などを共同作業して、みんなが集える『ひろば』をみんなで作り上げます。作り上げた『ひろば』で、世代を超えた交流を図るための事業として、グラウンドゴルフ大会を開催します。	1,990

整理番号	事業名	応募者	事業概要	補助金額 (千円)
11	体験参加型コンサートによる心の絆づくりプロジェクト	東北市民バンド協議会	子どもから高齢者まで参加できるコンサートを開催し、心のやすらぎや元気を持って頂き、併せて、手作り楽器を居住者が一緒に制作することで会話を生みお互いを知り、活発な居住者の交流を図りながら自治会等への参加を促し絆づくりのキッカケをつくって頂きます。また、アンケート調査で、居住者の課題や求めているものを見つけ出し提言書として自治体などへ提供します。	1,958
12	『石巻復興きずな新聞』による見守り・絆・生きがい作りプロジェクト	石巻復興きずな新聞舎	平成28年3月に終刊した仮設住宅向け情報紙『仮設きずな新聞』の活動を発展させ、新しく『石巻復興きずな新聞』を創刊します(月1回発行/A4判4ページ)。下記の取り組みを行います。	2,000
13	不登校の子ども達の居場所と多様な学び実現プロジェクト	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ	地域企業や各種団体、高齢者等の一般住民を講師・ボランティアとして参加を促し、子ども達が地域の人々と交流機会を通じて、社会学習等の多様な学びにつながる環境づくりを行う。	1,998
14	ひとり親家庭とチャイルドプアの子どものための学習サポート	チャイルドネットジャパン	毎週月・水(15時~19時)に、小学生~高校生のための子ども学習サポートを行います。七夕やハロウィン、クリスマスなど、季節のイベントも行き、新旧住民・復興住宅の独居老人の方とも交流し社会家族を形成します。	2,000
15	テーマ型コミュニティ育成プロジェクト	特定非営利活動法人 ウィメンズアイ	地域に暮らす女性のニーズに対応した講座の企画運営町内に暮らす外国人や町外からの転居者の交流促進と異文化理解を深めるため、料理をテーマとする交流会、子育て世代の女性たちが防災リーダーとして活躍できるよう学び合う「防災ママリーダー」育成講座。	2,927
16	乳幼児親子の居場所、地域支え合いの場づくり	特定非営利活動法人 ベビースマイル石巻	石巻では地域の少子高齢化に加え、震災による復興によるコミュニティの変化が続いており、子育ての孤立、子どもを育てる地域としての不安を解消するために居場所づくりと子育てをサポートする人材作りは大変重要です。子育てを安心、安定して出来る地域とするために、居場所を通して子育て当事者同士・地域がつながり、居場所を活用して子どもを預ける(預け合う)・見守る等の地域住民を交えた支え合いを行い、つながる場、地域住民の育ち合いの場をつくります。	1,994
17	こころの森づくり事業	NPO法人 こころの森	国立の追悼復興祈念公園のコンセプトは、①追悼鎮魂②震災を伝承する③未来へ向けて復興のメッセージを発信する、です。NPO法人「こころの森」では、2年前の秋より、地域住民と里山から種拾いをし、発芽させ、苗木づくりをしています。2年後には、公園へ植樹をして、木を育て、100年後の森づくり活動を行います。自然と寄り添い真の豊かな生き方を、未来への復興のメッセージとして紡ぐ活動です。この活動は、自然のいのちの循環と、植物を育てる喜び、自然の美しさを学び、自分のこころを豊かにする活動です。地域の住民、小学生、中学生、ボランティア、修学旅行生、国内外の交流人口を増やし、未来へ継続する体験学習としていきます。	2,000
18	孤立しがちな男性や高齢者が主役のモノづくり支援と収益活動支援事業	特定非営利活動法人 おおさき地域創造研究会	「盆栽」や「陶芸」を通して被災者同士、被災者と地域住民とのコミュニティ形成支援していく。「教室」を通して継続的に参加者同士のつながりを深める。盆栽や器の販売会や展示会などを開催し収入を得ることで自立へとつなげていく。その前段には「作戦会議」として参加者同士が話し合い、主体となって販売などをしていけるよう支援する。	2,000
19	お茶のこさいさいプロジェクト	特定非営利活動法人 にじいろクレヨン	仙台市田子西地区の復興公営住宅を中心に、子どもを軸とした住民主体の子どもを見守るコミュニティを作る。子どもの遊び場及び居場所作り、アートコミュニケーションを活かした子どもと大人が交流できるサロン活動、制作した作品の展示を通して、人と人との繋がりや信頼関係を作り、地域に住む人々が子どもを温かく見守り、地域の方で子どもを育むことのできるコミュニティ作りを目指す。	1,800
20	大谷地区まちづくりマネジメント支援プロジェクト	一般社団法人プロジェクトリアス	大谷地区の若い世代が中心のまちづくり協議会「大谷里海づくり検討委員会」の事務局機能をサポートし、検討委員会とともに地域資源情報を調査・収集・整理。地域資源情報を活用したワークショップ等を行い、被災エリアのまちづくり計画の作成やアクションプラン等の作成、地域運営の仕組みづくりを行う。	1,625
21	子どもの学び直し志誠塾「おおさき寺子屋」フォローアップ事業	特定非営利活動法人 Synapse40	災害公営住宅等に居住しているシニア層も含めた地域の大人等がサポーターとして活躍するシニアボランティアの育成と子ども・子育ての相談活動を行い利用する子ども達の居場所を提供する。	1,842

整理番号	事業名	応募者	事業概要	補助金額 (千円)
22	宮城県ブルメリアおうち農園事業	特定非営利活動法人地球の楽好	経済的にも不安を抱える状況にある人々にとって、生活しながら老若男女問わずできることと、たくさんの地域で行うことで共通の概念を持ち繋がっていることの孤独ではない。という意識が大きな「生きる力」「生きる喜び」花を栽培することによって「生きている証」を実感していくことを目的として実施する。	2,000
23	避難先の仮設住宅近隣の休耕地を耕作し、収穫物により避難先の地域住民と交流会を実施する。	特定非営利活動法人稲穂の絆	避難先の仮設住宅近隣の休耕地を耕作し、収穫物等により地域住民との交流会を実施する。避難者の漁業経験を活かし、子どもや観光客に対して船上漁業体験の機会を提供する。被災地の青年と共に地域活性化のイベントを企画・実施する。	2,000
24	緑のまちづくり	特定非営利活動法人わたりグリーンベルトプロジェクト	被災された高齢者と地域の住民が亘理町沿岸部に多くある遊休地を活用し共に農作業を行う事で、地域の緑化を進めて行く。同時に、この活動は、被災高齢者と地域の住民との繋がりを創り、引きこもりや孤立を防ぎ、また体を動かす事で心身の健康を維持する。	2,000
25	仙台から歴史を学び地域住民同士のコミュニケーションを目指す	一般社団法人復興支援士業ネットワーク	仙台市若林区にあります荒町こころの学校共に以下の事業を行うことで、「心の復興」を図ります。 ①仙台市内外の観光地や史跡等への歴史探索ツアーの実施。②ギター奏者による笑いや歌で疲弊した心を癒すイベントの開催③心理カウンセラーも入れたお茶会と生活再建のための無料総合相談会を開催。	2,000
26	実践型「いのちの教育」による子育て支援 ～健やかな未来のために～	尚綱学院大学エクステンションセンター	本学教員による子どもと保護者を対象とした「いのちの教育」講座を実施。さらに、生活環境や家庭環境の多様化による子どもたちが持つ課題の違いを考慮し、個別相談を行う。* 月1回(計4回)実施	918
27	女川学生誘致プロジェクト	東北大学国際ボランティア団体 As One	今回私達がお世話になっている一般社団法人コミュニティスペースうみね様と協力し、そこが行っている「ゆめハウス」事業に学生がコミットすることで、団体そしてそこが持っているコミュニティを活性化できればと思っています。この一年間の事業の内、前半はまず団体に所属している学生を「ゆめハウス」に継続的に誘致し一緒に活動し、その後「ゆめハウス」事業に本格的に参入し、地元の方々と協力しながら学生からの視点で商品開発や「ゆめハウス」や大きくは女川という地域の発信を行います。	500